

第5章 指標設定の根拠

(1) 目標① 交通モードの役割に応じた最適なネットワークの形成

■ 指標 1-1 住民 1 人当たりの公共交通利用回数

項目	現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
i 鉄道	27.3(回/年・人)	27.3(回/年・人)以上	毎年
ii 路線バス	32.8(回/年・人)	32.8(回/年・人)以上	毎年
iii 地域内交通	0.07(回/年・人)	0.07(回/年・人)以上	毎年
iv 一般乗用タクシー	9.7(回/年・人)	9.7(回/年・人)以上	毎年

■ 指標の設定理由

公共交通機関の利用状況を測るために設定します。公共交通全体の交通利用の実態を把握し、地域内の交通サービスが適切に提供されているか、交通結節点が活用されているか、利便性が高いか等について評価します。

この指標により、公共交通の利用の度合いを明確にします。

なお、盛岡都市圏全域で公共交通の利用者数が減少している理由の一つとして人口減少が挙げられますが、公共交通施策では人口減少に対して直接的な対策を講じることは困難であるため、「住民 1 人当たり」の指標を採用することにより、人口減少による影響を極力排除し、公共交通の利用状況をより適切に把握できるようにします。

■ 指標の算定方法

i 鉄道

- 「住民 1 人当たりの公共交通利用回数（鉄道）」は、「鉄道駅の年間利用回数」を「盛岡都市圏の総人口」で除した数値とします。
- 「鉄道駅」は、交通結節点として位置付ける、地域内交通と地域間交通の円滑な接続の拠点となる以下の駅を対象とします。なお、無人駅は除きます。

盛岡市【6 か所】：(JR) 盛岡駅/岩手飯岡駅 (IGR) 青山駅/厨川駅/渋民駅/好摩駅

滝沢市【2 か所】：(IGR) 滝沢駅/巣子駅

矢巾町【1 か所】：(JR) 矢幅駅

※「JR」は「東日本旅客鉄道株式会社」、「IGR」は「IGRいわて銀河鉄道株式会社」が管理する駅を示します。

- なお、収集できるデータは鉄道事業者が公表している「鉄道駅の 1 日当たりの乗車人員 (JR) 又は乗降人員 (IGR)」であるため、「年間」に換算するために 365 を乗じます。また、IGR のデータは「乗降人員」のデータのため、「回数 (1 往復で 1 回)」に換算するために利用者は同じ駅で乗降していることを前提として 2 で除します。この数値を「鉄道駅の年間利用回数」とし、「表 5-1 令和 5 年度 (2023 年度) 年間利用回数 (鉄道)」のとおり整理します。

表 5-1 令和5年度（2023年度）年間利用回数（鉄道）

鉄道駅	利用回数 (人・回/年)
JR盛岡駅	5,877,230
JR岩手飯岡駅	777,085
IGR青山駅	583,088
IGR厨川駅	545,128
IGR好摩駅	265,173
IGR渋民駅	104,025
IGR滝沢駅	467,018
IGR巣子駅	172,098
JR矢幅駅	1,091,350
合計	9,882,193

資料：東日本旅客鉄道株式会社、IGR いわて銀河鉄道株式会社

- ・「盛岡都市圏の総人口」は、盛岡市、滝沢市、矢巾町の人口の和とします。

表 5-2 令和5年度（2023年度）盛岡都市圏の総人口

自治体	人口(人)
盛岡市	280,286
滝沢市	54,933
矢巾町	26,341
合計	361,560

資料：盛岡市、滝沢市、矢巾町「住民基本台帳登録人口」（令和5年（2023年）12月末日時点）

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（鉄道）」は次のとおりです。

表 5-3 令和5年度（2023年度）住民1人当たりの公共交通利用回数（鉄道）

項目	数値
年間利用回数(回/年)	9,882,193
盛岡都市圏人口(人)	361,560
1人当たり年間利用回数(回/年・人)	27.3

表 5-4 令和12年（2030年）10月1日時点の盛岡都市圏推計人口

自治体	人口(人)
盛岡市	272,642
滝沢市	53,545
矢巾町	26,771
合計	352,958

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5年度（2023年度）推計）

ii 路線バス

- 「住民1人当たりの公共交通利用回数（路線バス）」は、「路線バスの年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値とします。
- 対象を選定する上での考え方は以下のとおりとします。

運行形態：路線バス事業者が運行する路線バス

利用者：誰もが利用できるバス

区間：起点と終点のどちらかが都市圏内であり、かつ県外に出ない路線

- 「対象を選定する上での考え方」を踏まえ、以下を対象とします。

路線バス：岩手県交通株式会社

岩手県北自動車株式会社

ジェイアールバス東北株式会社

- なお、収集できるデータは「年間輸送人員」であり、この数値を「路線バスの年間利用回数」とし「表 5-5 令和5年度（2023年度）年間利用回数（路線バス）」のとおりに整理します。

表 5-5 令和5年度（2023年度）年間利用回数（路線バス）

分類	利用回数 (人・回/年)
岩手県交通(株)	10,102,872
岩手県北自動車(株)	1,657,953
ジェイアールバス東北(株)	83,287
合計	11,844,112

資料：国土交通省東北運輸局岩手運輸支局「運行系統別輸送実績報告書」

- 「住民1人当たりの公共交通利用回数（路線バス）」は次のとおりです。

表 5-6 令和5年度（2023年度）住民1人当たりの公共交通利用回数（路線バス）

項目	数値
年間利用回数(回/年)	11,844,112
盛岡都市圏人口(人)	361,560
1人当たり年間利用回数(回/年・人)	32.8

iii 地域内交通

- 「住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）」は、「地域内交通の年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値とします。なお、現行の地域内交通の運行は各市町内での範囲ではありますが、今後は地域内交通の運行エリアの見直し（拡大）により盛岡都市圏全体の交通手段とすることも想定しているため、「地域の総人口」で除すことにしています。

- 対象を選定する上での考え方は以下のとおりとします。

運行形態：自治体が運営するコミュニティバス、自治体が運営するデマンド型交通 等

利用者：誰もが利用できるバス

目的や利用者が限定される「患者輸送バス」等は対象としない

区間：起点・終点のどちらかが盛岡都市圏内であり、かつ県外に出ない路線

- 「対象を選定する上での考え方」を踏まえ、以下を対象とします。

自治体運営バス及びデマンド型交通：滝沢市 滝沢市福祉バス

矢巾町 矢巾町市街地循環バス、矢巾町予約型乗合バス

- なお、収集できるデータは「年間輸送人員」であり、この数値を「地域内交通の年間利用回数」とし「表 5-7 令和5年度（2023年度）年間利用回数（地域内交通）」のとおりに整理します。

表 5-7 令和5年度（2023年度）年間利用回数（地域内交通）

分類	利用回数 (人・回/年)
滝沢市福祉バス	2,600
矢巾町市街地循環バス	21,683
矢巾町予約型乗合バス	1,014
合計	25,297

資料：滝沢市・矢巾町

- 「住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）」は次のとおりです。

表 5-8 令和5年度（2023年度）住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）

項目	数値
年間利用回数(回/年)	25,297
盛岡都市圏人口(人)	361,560
1人当たり年間利用回数(回/年・人)	0.07

- 参考として、地域内交通が運行されている滝沢市、矢巾町において、それぞれの「年間利用回数」、「住民1人当たりの公共交通利用回数」を以下のとおり整理します。

表 5-9 滝沢市・矢巾町における令和5年度（2023年度）公共交通利用回数（地域内交通）

項目	滝沢市	矢巾町	
	福祉バス	市街地循環バス	予約型乗合バス
年間利用回数(回/年)	2,600	21,683	1,014
人口(人)	54,000	26,000	
1人当たり年間利用回数(回/年・人)	0.04	0.87	

iv 一般乗用タクシー

- 「住民1人当たりの公共交通利用回数（一般乗用タクシー）」は、「一般乗用タクシーの年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値とします。
- 「一般乗用タクシー」は、盛岡都市圏内に登録されている一般乗用タクシーの法人及び個人事業者を対象とします。
- 収集できるデータは「年間輸送人員」であり、この数値を「一般乗用タクシーの年間利用回数」とし「表 5-10 令和5年度（2023年度）年間利用回数（一般乗用タクシー）」のとおり整理します。

※「年間輸送人員」は岩手運輸支局が作成している資料のうち「タクシー・ハイヤー」の項目を参照しました。岩手県内において「ハイヤー」の稼働実績はないことから、当計画においては「ハイヤー」を除き「一般乗用タクシー」の表記として整理します。

表 5-10 令和5年度（2023年度）年間利用回数（一般乗用タクシー）

分類	利用回数 (人・回/年)
法人 盛岡市	3,196,895
法人 滝沢市	55,907
法人 矢巾町	112,234
個人 盛岡市	113,999
個人 滝沢市	28,455
個人 矢巾町	7,860
合計	3,515,350

資料：国土交通省東北運輸局岩手運輸支局「一般乗用旅客自動車運送事業輸送実績報告書」

- 「住民1人当たりの公共交通利用回数（一般乗用タクシー）」は次のとおりです。

表 5-11 令和5年度（2023年度）住民1人当たりの公共交通利用回数（一般乗用タクシー）

項目	数値
年間利用回数(回/年)	3,515,350
盛岡都市圏人口(人)	361,560
1人当たり年間利用回数(回/年・人)	9.7

■目標設定の考え方

各種施策により、現状値からの向上を目指します。

■ 指標 1-2 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合

現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
79.9%	79.9%以上	計画更新時

■ 指標の設定理由

鉄道、路線バス、地域内交通への利用圏域に居住する人口を明確にするために設定し、公共交通サービスの提供状況を評価します。

この指標により、地域の交通格差の是正や、交通弱者への対応についての度合いを明確にします。

■ 指標の算定方法

- 「鉄道・路線バス・地域内交通利用圏」を、鉄道は鉄道駅から半径 800m 以内、路線バス並びに地域内交通はバス停や乗降場所から半径 300m 以内として設定します。

なお、「地域内交通」は滝沢市福祉バス、矢巾町予約型乗合バスが該当します。

- 利用圏内に居住する人口は次のとおりです。

なお、算出に当たっては利用圏人口の分析が可能な国勢調査の人口を使用します。

表 5-12 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口（単位：人）

年度	鉄道	路線バス	地域内交通	全体
令和 2 年度(2020 年度)	92,042	268,105	67,067	298,219
(参考) 平成 27 年(2015 年度)	93,976	273,756	66,972	304,146

※鉄道及びバス停の位置は、令和 6 年（2024 年）3 月 31 日時点

- 計測時点の国勢調査による盛岡都市圏内の人口は次のとおりです。

表 5-13 国勢調査による都市圏内の人口

年度	盛岡都市圏(人)
令和 2 年(2020 年)10 月	373,366
令和 12 年(2030 年)(将来人口)	352,958
(参考) 平成 27 年(2015 年)10 月	380,772

- 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合は次のとおりです。

表 5-14 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合

年度	割合
令和 2 年(2020 年)10 月	79.9%
(参考) 平成 27 年(2015 年)10 月	79.9%

■ 目標設定の考え方

各種施策により、現状値からの向上を目指します。

(2) 目標② 安心・快適に利用できる公共交通サービスの構築

■ 指標 2-1 公共交通利用者の満足度

現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
29.6%	35.6%	計画更新時

■ 指標の設定理由

地域住民や利用者が公共交通サービスに対して感じる利便性や快適さを測定するために設定し、サービスの質や利用者のニーズに応えられているかを評価します。

この指標により、サービスの改善点やさらなる充実のための度合いを明確にします。

■ 指標の算定方法

- 盛岡都市圏で実施する公共交通に係るアンケートにおいて、設問「現在の公共交通サービスを使いやすいと思いますか？」に対して「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合とします。
- 「令和5年度 盛岡都市圏（盛岡市・滝沢市・矢巾町）の公共交通に関するアンケート調査」によると、現状値は29.6%となっています。
- なお、通勤通学等の公共交通利用「あり」「なし」で分類した満足度の現状値は次のとおりです。

表 5-15 満足度の現状値（令和5年度（2023年度）アンケート）

項目	公共交通利用あり	公共交通利用なし	全体
そう思う	8.9%	3.7%	6.0%
ややそう思う	30.0%	23.7%	23.6%
そう思う+ややそう思う	38.9%	27.4%	29.6%
あまりそう思わない	36.7%	40.7%	34.9%
そう思わない	21.9%	26.9%	24.7%
無回答	2.6%	5.0%	10.8%

資料：令和5年度（2023年度） 盛岡都市圏（盛岡市・滝沢市・矢巾町）の公共交通に関するアンケート調査

■ 目標設定の考え方

当計画と整合を図ることとしている「岩手県地域公共交通計画」（以下「岩手県計画」という。）では、「【指標4】県民意識調査における公共交通満足度」が設定されています。当指標では、現状値（令和4年度（2022年度））が「2.6点/5点満点」で、目標値（令和10年度（2028年度））が「2.9点/5点満点」です。岩手県全体で目指す指標ではありますが、盛岡都市圏は県内において人口が集中する地域であり県の指標達成に影響を及ぼすこと、盛岡都市圏においても一定の向上を目指すことから、岩手県計画と同程度の向上を目標とします。

この目標を達成するには、県民意識調査の該当する設問において「満足できる状態」「やや満足できる状態」の回答割合を6%程度向上させる必要があります。岩手県計画は5年間の計画期間で6%の向上を目指しているので、当指標においても「そう思う」+「ややそう思う」の回答を6%向上させることを目標とし、35.6%を目標値として設定します。

(3) 目標③ 地域に合った望ましい交通行動の普及・定着

■ 指標 3-1 公共交通利用率

現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
27.8%	27.8%以上	計画更新時

■ 指標の設定理由

地域の移動手段における公共交通の利用割合を測定するために設定し、公共交通の利用割合を評価します。

この指標により、交通行動の普及及び定着の度合いを明確化します。

■ 指標の算定方法

- 盛岡都市圏で実施する公共交通に係るアンケートにおいて、設問「通勤・通学時、自宅からの交通手段」に対して「鉄道（JR・IGR）」「路線バス」「市町で運行するバス等」「一般乗用タクシー」と回答した者の割合とします。
- 「令和5年度（2023年度）盛岡都市圏（盛岡市・滝沢市・矢巾町）の公共交通に関するアンケート調査」によると、公共交通利用率は「行き」で27.3%、「帰り」で27.2%、「行き又は帰り（行きかつ帰りを含む）」で27.8%となっています。
- なお、「通勤・通学時における移動」の利用状況は次のとおりです。

表 5-16 通勤・通学時における公共交通の利用有無

区分	選択肢	比率(%)
行き	利用する	27.3
	利用しない	72.7
帰り	利用する	27.2
	利用しない	72.8
行き又は帰り (行きかつ帰りを含む)	利用する	27.8
	利用しない	72.2

資料：令和5年度（2023年度）盛岡都市圏（盛岡市・滝沢市・矢巾町）の公共交通に関するアンケート調査

■ 目標設定の考え方

各種施策により、現状値からの向上を目指します。

(4) 目標④ 従来の取組の枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築

■ 指標 4-1 3市町連携した実施事業数

現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
0	31	計画更新時

■ 指標の設定理由

3市町が連携した施策を実施できているかを測定するために設定し、盛岡都市圏としての連携体制が構築されているか評価します。

この指標により、3市町が協力して施策を進めることで、交通網の整備や利便性の向上が可能となっているかの課題を明確にします。

■ 指標の算定方法

- ・都市圏施策の取組んだ事業数を測定します。
- ・なお、「対象の実施事業」は次のとおりです。

表 5-17 3市町の連携による事業

都市圏施策	実施事業	No
都市圏施策 1-1	【事業①】鉄道の維持	1
	【事業②】鉄道の利活用・利便性向上等に向けた協議・調整	2
都市圏施策 1-2	【事業①】都市圏基幹系統のサービスレベルの維持	3
	【事業②】まちづくりと連携したネットワークの形成	4
	【事業③】移動実態やニーズに対応した効果的なネットワークの形成	5
	【事業④】広域基幹系統の検討・協議	6
都市圏施策 1-3	【事業①】一般乗用タクシーの効果的な運行	7
	【事業②】時間帯や地域の需要実態等に応じた移動手段確保の検討	8
都市圏施策 1-5	【事業①】車両・施設維持等における支援（I G R、バス）	9
	【事業②】広域基幹系統の維持確保に繋がる支援（バス）	10
都市圏施策2-1	【事業①】主要結節点の整備に向けた調査・検討	11
	【事業②】鉄道駅や周辺バス停留所の待合環境の改善	12
都市圏施策2-2	【事業①】交通結節点におけるP & R及びC & R等の推進	13
	【事業②】地域のまちづくりや主要施設との連携	14
都市圏施策3-1	日中時間帯のダイヤ調整	15
都市圏施策3-2	分かりやすい公共交通案内情報の提供に向けた検討・整備	16
都市圏施策3-3	既存の公共交通を活用した観光部門との連携	17
都市圏施策3-4	利用促進に繋がる運賃体系・プランの検討・実施	18
都市圏施策3-5	キャッシュレス決済の導入・普及拡大	19
都市圏施策4-1	【事業①】利用者に合わせた情報提供	20
	【事業②】多様な媒体による情報提供	21
都市圏施策4-2	都市圏公共交通マップの作成	22
都市圏施策4-3	公共交通利用促進イベントの共同開催	23
都市圏施策4-4	【事業①】通勤等での公共交通の利用促進	24
	【事業②】学生向け特別企画学年定期券の利用促進	25
	【事業③】公務移動時の公共交通利用の推奨	26
都市圏施策4-5	【事業①】住民や地元企業等と連携した公共交通施設の維持管理	27
	【事業②】交通結節点の利用方法の周知	28
	【事業③】モビリティ・マネジメントの実施	29
	【事業④】定期的な会議等の開催	30
都市圏施策4-6	運転士不足の改善に向けた周知及びイベントの開催	31

■目標設定の考え方

当計画における都市圏施策の実施事業数を目標値として設定します。

■ 指標 4-2 路線バスの収支率

現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
77.12%	77.12%	毎年

■ 指標の設定理由

利便性や持続可能性の高い地域公共交通ネットワークを実現するために設定し、評価します。

この指標により路線バス事業者の収支バランスを把握し、自治体として必要な支援や施策を検討します。

■ 指標の算定方法

- 収支率は、盛岡都市圏内を走行する路線バスの「経常収入」を「経常費用」で除した数値とします。
- 対象を選定する上での考え方は以下のとおりとします。

運行形態：路線バス事業者が運行する路線バス

利用者：誰もが利用できるバス

目的や地域が限定される「患者輸送バス」等は対象としない

区間：起点・終点のどちらかが都市圏内であり、かつ県外に出ない路線

- 「対象を選定する上での考え方」を踏まえ、次の路線バス事業者の路線を対象とします。

岩手県交通株式会社

岩手県北自動車株式会社

ジェイアールバス東北株式会社

■ 目標設定の考え方

人口減少によって利用者及び収入の減少が見込まれますが、利用者を増やす取り組みによって収入を増やすと共に、ネットワークの最適化や各種施策によって支出を抑えることにより「維持」を目標とします。

■ 指標 4-3 公共交通への公的資金投入額

現状値(R5(2023))	目標値(R12(2030))	確認時期
214 百万円	302 百万円	毎年

■ 指標の設定理由

公共交通の維持や改善に向けた公的な財政支出の規模を測定するために設定し、金額や増減を踏まえた施策の有効性や改善点を評価します。

この指標により、公共交通に公的資金が投入されている度合いを明確にします。

■ 指標の算定方法

各市町が公共交通に対して投じた公的資金のうち、交通事業者に対し直接に補助、支援をしているもの及び自治体が運営する公共交通に係るものの総額とします。

なお、当指標に係る各市町の事業は次のとおりです。

表 5-18 各市町の事業

自治体	現状値(R5(2023))における項目	目標値(R12(2030))における項目
盛岡市	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金
	まちなか・おでかけバス事業補助金	まちなか・おでかけバス事業補助金
	玉山地域列車おでかけきっぷ事業補助金	玉山地域列車おでかけきっぷ事業補助金
	広域生活路線維持事業補助金	広域生活路線維持事業補助金
	ノンステップバス導入等補助金	ノンステップバス導入等補助金
	スクールバス事業委託料※	スクールバス事業委託料※
	患者輸送事業委託料※	患者輸送事業委託料※
		路線バス運転士雇用促進支援金 地方バス路線存続支援金
滝沢市	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金
	広域生活路線維持事業補助金	広域生活路線維持事業補助金
	福祉バス委託料	福祉バス委託料
		路線バス運転士確保支援金 地方バス路線存続支援金
矢巾町	市街地循環バス運行委託料 (コミュニティバス)	市街地循環バス運行委託料 (コミュニティバス)
	予約型乗合バス運行委託料 (デマンドバス)	予約型乗合バス運行委託料 (デマンドバス)
	広域生活路線維持事業補助金	広域生活路線維持事業補助金
		地方バス路線存続支援金

※利用者が限定されるため、公共交通に含まれるものではないが、実施施策検討により公共交通への転換の可能性があることから計上しています。

資料：盛岡市・滝沢市・矢巾町

■ 目標設定の考え方

現状値に、計画期間内の実施事業に要する想定 of 公的資金投入額を付加し、設定します。